

滝川市立滝川第三学校 学校教育活動紹介

校長 板谷 文美子

○学校紹介

滝川市立滝川第三小学校は、今年度開校 108 年目を迎えた全校児童 291 名の小学校です。伝統を礎にしながら、地域の教育資源を教育課程に柔軟に取り入れた創造的な教育活動を展開しています。

今年度より、明苑中学校区における小中一貫教育のさらなる推進を目指し、「自ら学び 共に高め合い 未来を切り拓く力を育む」という 3 校統一の学校教育目標を掲げています。この目標のもと、義務教育 9 年間を見据えた切れ目のない指導体制を構築し、児童一人ひとりが主体的に課題を解決する力の育成に注力しています。

ICT 機器を効果的に活用した「個別最適な学び」と、対話を通じた「協働的な学び」の充実に努めるとともに、地域社会との密接な連携を通じて、豊かな人間性と社会性を養う多様な教育プログラムを展開しています。



○行事や特色ある活動の様子

本校では、「地域施設を訪問する学習」「地域人材から学ぶ学習」「地域人材と交流する」等の地域素材を活用した学びに重点的に取り組んでいます。今回は、その中からいくつかを紹介します。①6 年生が本校卒業生であり校舎の「3」のオブジェを設計された五十嵐威暢さんのことを学ぶワークショップを新十津川町にある美術館「かぜのび」で実施しました。②2 年生が「えがおのひみつたんけんたい」として市内 10 カ所の施設を訪問し、学んだことを学習発表会の中で紹介しました。③滝川幼稚園の年長児童を本校 1 年生が「あきのたからものランド」に招きました。今後は花月保育所も含めて 1 校 2 園が合同で雪遊びを実施する予定です。

五十嵐威暢さんを学ぶ



えがおのひみつたんけんたい



幼稚園・保育所との交流

